

## 令和 3 年度 学校教育自己診断集計結果について(報告)

日ごろより、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

学校教育自己診断の回答にご協力いただきありがとうございました。集計結果と考察を以下の通りご報告いたします。授業アンケートを実施している中学部と高等部の生徒を対象に実施している「学校生活アンケート」についても合わせてご報告いたします。

資料として、「令和 3 年度 学校教育自己診断 保護者・教職員集計 評点順一覧」と「令和 3 年度 生徒向け学校生活アンケート 評点順一覧表」も同時に配付していますので、ご覧ください。

### 1. 評点の計算方法について

A:よく当てはまる B:やや当てはまる C:あまり当てはまらない D:全く当てはまらない

計算式 →  $\{(A \times 3) + (B \times 2) + (C \times 1)\} \div (\text{回答実数} \times 3) \times 100$

実回答者全員が A にすると 100 点となる。

### 2. 回収率について

		小学部	中学部	高等部	担任外	全校
【教職員】	配付数	53	44	42	18	157
	回答率	96.4%	97.8%	100%	90%	96.9%
【保護者】	配付数	129	91	75		295
	回答率	80.1%	66.4%	62%		70.4%
【生徒】	配付数		31	58		97
	回答率		91.2%	92.1%		91.8%

生徒は中学部 I グループ、高等部 A・B グループを対象としている

### 3. 集計結果について

#### (1) 上位の 3 項目の評点

##### 【保護者】

6 学校は、連絡帳や電話連絡等で家庭への連絡を適切に行っている。----- 93.1

2 子どもは楽しく学校に通っている。----- 92.7

8 個別の指導計画には、子どもの学習のねらいや内容が分かりやすく記載されている。----- 92.6

##### 【教職員】

18 わたしは、児童・生徒に人権意識をもって接し、体罰やいきすぎた指導は行わない。----- 90.8

24 わたしは、校内におけるいじめ事象等の発生を未然に防ぐために常に努めている。----- 84.2

21 わたしは、児童・生徒の障がいについて理解し、課題に合った教育活動を行なっている。----- 82.7

##### 【中学部生徒】

10 先生は、あなたが困っていることがあれば、話を聞いてくれますか----- 92.0

9 先生は、自分や友だちを大切にすることを、教えてくださいか ----- 91.7

11 先生は、あなたに、ていねいな言葉づかいで、話をしてくれますか ----- 88.9

##### 【高等部生徒】

3 あなたは、友だちと、楽しく過ごせていますか ----- 91.1

5 あなたは、給食は、好きですか ----- 87.4

8 先生は、約束(決まりやルール)について、教えてくださいか ----- 87.4

## (2) 下位の 3 項目の評点

### 【保護者】

- 13 学校は、子どもが学習しやすいように施設・設備が整えられている。-----75.4  
10 PTA 活動は、活発に行われている。-----76.4  
12 学校は、防災や防犯など非常時に対する取り組みを適切に行っている。-----82.7

### 【教職員】

- 14 わたしは、PTA 活動をよく理解している。-----54.3  
2 教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされている。-----55.0  
9 学校間交流や居住地校交流において「交流及び共同学習」が充実している -----57.1

### 【中学部生徒】

- 12 先生は、将来(進路のことなど)について、教えてくれますか -----77.3  
2 あなたは、学校に行くのが、楽しいですか -----78.2  
4 あなたは、担任以外にも、気軽に相談できる先生がいますか -----78.2

### 【高等部生徒】

- 1 あなたは、登校や下校のときに、困ったことはありますか -----51.5  
2 あなたは、学校に行くのが、楽しいですか -----77.6  
13 先生は、地震や火災などが起こった場合、どうしたらよいか教えてくれますか -----79.2

## 4. 考察

### 【保護者】

19 項目中、90 点台は 7 項目、80 点台は 10 項目、70 点台が 2 項目となっている。「児童生徒指導に関すること」、「食育指導に関すること」の設問において4ポイント以上の評点向上があった。ほとんどの項目で 85 点以上の高い評価をいただいております、本校の教育活動についておおむね肯定的に捉えていただいていると思われる。以下の 2 項目は他と比較して評点が低い。

#### (1) **設問 13 学校は子どもが学習しやすいように施設・設備が整えられている。【評点 75.4】**

教育環境の改善については毎年大阪府に要望しているところであるが、今後も児童生徒数の増加が予想され、特別教室等を普通教室に転用していく必要がある。特別教室等の施設・設備の充実が厳しい状況が続くと考えられる。ICT 環境を含めた教室内の整備を継続し、限られた環境を有効活用することが求められている。

#### (2) **設問 10 PTA活動は、活発に行われている。【評点 76.4】**

前年度の評点から 3.7 ポイント評点が向上した。コロナ禍で大部分の活動が制限されたものの、情勢に合わせて活動が企画されてきたことが評価されていると考えられる。

### 【教職員】

26 項目中、70 点台は 10 項目、80 点台は 8 項目、90 点台は 1 項目となっている。「人権意識を持った対応」、「いじめ防止の対応」、「実態把握に基づく支援」、「児童生徒理解」など直接児童生徒に関わる基本的な事柄等については、おおむね高い評点となっている。以下の 3 項目は 50 点台となっている。

#### (1) **設問 14 わたしは、PTA 活動をよく理解している。【評点 54.3】**

昨年度の評点から 4.1 ポイント評点が向上した。各種委員会による学校備蓄品等の整備や PTA 新聞「わかば」の発行、進路アンケート調査の配付など感染拡大の状況に応じて活動されていることが反映されていると考えられる。今後も保護者と教職員が「協働」する場面が実現されていくことが必要である。

#### (2) **設問 2 教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされている。【評点 55】**

昨年度の評点から 2.9 ポイント評点が低下した。校内人事について管理職の意向と相違がある意見の反映であると思われる。児童生徒、教職員数の増加による校内の狭隘化により各部署の運営に苦慮している状況も汲み取れる。全員の希望通りに所属等を調整することは非常に難しく、今後も教職員それぞれの適正、能力の把握に努め、個々に応じた業務の分担を進めていく必要がある。

#### (3) **設問 9 学校間交流や居住地校交流において「交流及び共同学習」が充実している。【評点 57.1】**

昨年度に引き続き、コロナ禍で交流活動が制限されたことが原因であると考えられる。今年度は、作品交流やオンライン交流など、実施形態を模索しながら交流活動を実施することができた。

## 【生徒】

### ・中学部

13項目中、70点台が4項目、80点台が6項目、90点台は2項目となっている。令和元年度より実施している学校生活アンケートにおいて、90点台の評点が認められたのは初めてのことである。

### ・高等部

13項目中、70点台が2項目、80点台が9項目、90点台が1項目となっている。

学校生活全般、友だちとの関係、教員の指導や支援の在り方、教員との関係性など、おおむね良好であると考えられる。今後も維持していけるように様々な場面で、生徒たちが学びやすい学校づくりを進めていく。

一方、現段階で「学校生活アンケート」は中学部1グループ、高等部のA・Bグループの対象となっているので、全ての生徒に対して、細やかに目を向け、小さな変化にも察知して対処していける教員体制の維持も必要である。

### (1) **設問1 あなたは、登校や下校のときに、困ったことはありますか【平均評点 36.5】**

設問に対して 中学部 14.4(昨年度 31.0)、高等部 48.5(昨年度 58.0)と昨年度から大きく評点が低下した結果となった。昨年度の評価を受けて、児童生徒指導部を中心に聞き取り調査を実施したことや、設問の順番を改めたことで、昨年度より明確な回答を得ることができたのではないかと考えている。

生徒の通学方法は通学バス、家庭～バス停間自力、完全自力などがあり、特に、高等部の生徒にとってはそれぞれの通学場面で少なからず困ったことがあるという結果である。今後も聞き取り調査や登下校指導を継続するなどして、実態を具体的に把握し、改善に向けたアクションが必要であると思われる。

### (2) **設問2 あなたは、学校に行くのが、楽しいですか【平均評点 77.8】**

設問に対して 中学部 78.2(昨年度 78.2)、高等部 79.2(昨年度 77.6)と昨年度からの改善に至らなかった。学校生活の様々な場面でマスクの着用や給食時間中の黙食、友だち同士の距離の保ち方などのルールや、行事等における活動制限が続いている。今年度は、宿泊を伴う修学旅行を実施することができたことや、昨年度中止となった行事も一部実施することができた。感染症対策により制限されていた学習活動(高等部水泳学習、歌唱)も一部再開されたものの、当初の計画通りに実施できなかった校外行事も複数あることが要因の一つであると思われる。

## 5. 学校運営協議会からのご意見

- ・保護者、教職員ともに例年評点が低い「PTA 活動への理解」については、保護者として理解度が向上されてほしいと感じている。PTA 主体の活動というよりも、日々の学校教育の中で子どもたちや先生方を保護者が下支えするという意識が今後の姿になるのではないかと。
- ・教職員の「人事に関する分担」の設問についても、本校の状況や実態と昨今求められる様々な情勢に対応している管理職等の状況に理解を示す姿が反映されてほしい。
- ・課題やめざすべき姿がはっきりしている事柄(児童生徒理解、キャリア教育、ICT 環境)については評点が向上している。日々の先生方の努力を汲み取ることができる。
- ・代表委員会(児童生徒会)のアンケート結果にもある、子どもたちの「生の声」を大切にしてほしい。特に、困っていることを解決する力にアプローチ(指導)してほしい。
- ・「地震や災害」に関する項目については、命に関わる事なので、先生方それぞれの意識向上や子どもたちへの指導を徹底されることを期待したい。
- ・「学部間連携」の評点が向上されていることが保護者として嬉しい。環境変化が苦手な子どもたちに途切れることのない支援が全校体制で届くことが子どもたちはもとより、保護者にとっても有難い。

## 6. PTA 運営委員会からのご意見

- ・代表委員会(児童生徒会)のアンケート結果にもある子どもたちの意見を、日々の学校生活や行事に反映することができるか検討してほしい。PTA においても協力できるかどうか検討したい。
- ・PTA 活動を「よく理解している」という設問が、回答するうえで難易度が高いと感じられているのではないかと。実態にあった設問になれば、数的な結果と実際に感じている温度感との差が和らぐのではないかと。
- ・教職員と PTA が協働する場面は引き続き大切にしていきたい。窓ガラスの飛散防止シートの設置等、防災においては今後の代替も含めて協働の場として継続していきたい。